

祖父母も読める育児コラム

人とのふれあいを大切に

文=清水 雅代(保健師)



作したり、気に入らなければリセットするなど、人と関わることや相手の気持ち

最近、テレビや新聞などでいじめで自殺する、子どもが親を殺害するなど子どもが被害者や加害者になる事件をよく目にするようになりました。これは、単にその子どもも問題としてではなく、社会全体の問題として一人ひとりが真剣に考えていく必要があるように思います。

科学の発達が進んだとはいえ、私たちが生きていく上で、人と関わることは不可欠です。人との関わり方にはマニュアルがないため、勉強のようには教えるだけでは身につけません。様々な人とのふれあいを通じて、相手の気持を考慮する力、人と関わる力、自分の感情をコントロールする力などを学んでいくのです。

たくさんほめて 自信をつけさせよう

自分は認められた存在であるという認識をもつことは、人との良好な関係性を築くベースになります。自信がつかないようにたくさんほめましょう。

気持ちを言葉にして 伝えよう

感情的に叱ったり、叩いたりすることは、「怒られた」という現象しか頭に残りません。なぜいけないかったか、どうしたら良かったのか言葉で伝えることが大切です。また、だめなことだけではなく、「～してくれたからとてもうれしいよ」などその時々気持ちを伝えていくこともとても大切です。

人とのふれあいを大切に

人とのふれあいを通じて、人と関わる楽しさや、考えの違う他者との関わり方を学んでいきます。大人が見本となり、人との関わり方を伝えていきましょう。「こころ」を育てるには時間がかかります。色々な遊びや体験を通して、人と遊ぶ楽しさや人に対する信頼感を育てていきましょう。

